

## 補正書の請求の範囲

[2004年12月3日(03.12.2004) 国際事務局受理: 出願当初の請求の範囲  
1及び4は補正された; 他の請求の範囲は変更なし。(1頁)]

- [1] (補正後)酸化物超電導体(2)の焼結密度が93%以上である酸化物超電導線材(1)を有し、  
前記酸化物超電導体(2)は、ビスマスと鉛とストロンチウムとカルシウムと銅とを含み、その原子比として(ビスマスと鉛):ストロンチウム:カルシウム:銅が2:2:2:3と近似して表されるBi2223相を含むBi-Pb-Sr-Ca-Cu-O系の酸化物超電導体である、超電導機器(30)。
- [2] 前記酸化物超電導体(2)の前記焼結密度が95%以上である前記酸化物超電導線材(1)を有する、請求項1に記載の超電導機器(30)。
- [3] 前記酸化物超電導体(2)の前記焼結密度が99%以上である前記酸化物超電導線材(1)を有する、請求項2に記載の超電導機器(30)。
- [4] (補正後)酸化物超電導体(2)の焼結密度が93%以上である酸化物超電導線材(1)を有し、  
前記酸化物超電導体(2)は、ビスマスと鉛とストロンチウムとカルシウムと銅とを含み、その原子比として(ビスマスと鉛):ストロンチウム:カルシウム:銅が2:2:2:3と近似して表されるBi2223相を含むBi-Pb-Sr-Ca-Cu-O系の酸化物超電導体である、超電導ケーブル(30)。
- [5] 前記酸化物超電導体(2)の前記焼結密度が95%以上である前記酸化物超電導線材(1)を有する、請求項4に記載の超電導ケーブル(30)。
- [6] 前記酸化物超電導体(2)の前記焼結密度が99%以上である前記酸化物超電導線材(1)を有する、請求項5に記載の超電導ケーブル(30)。